

アル・アクサ洪水第463日目：停戦交渉が緊迫する中で、イスラエル軍兵士が複数死亡、最高司令官も負傷

The Palestine Chronicle、2025年1月11日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: via PalPost, Social media)

主要事項

*イスラエル軍は民間人や医療従事者を最大限殺害する意図で、住宅地帯を完全破壊できる大量の武器弾薬を配備していると、ガザ市民防衛団の報道官が言った。

*パレスチナ・レジスタンスはイスラエルの不発弾を再利用して爆弾を作っていると、イスラエル・メディアが報道した。

*ガザ回廊から回廊周辺のイスラエルの集落へロケット弾が発射され、ステロットやカラム・アブ・サレム（ケレム・シャローム）で警報が鳴った。

*ガザ保健省によれば、2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は46,006人となり、負傷者は109,378人となった。

最新情報

1月12日 1:24 am (パレスチナ時間)

*イエディオト・アハロト：バイデン米政権に近い情報筋は、捕虜交換に関する交渉でバイデン政権が態度を変化させたと言った。この情報筋によると、米政権は停戦交渉のプロセスに関して懐疑的な態度を減らしたというのだが、イスラエル内閣は依然として捕虜交換・停戦に関する交渉に関与していない¹。

¹ イスラエル交渉団はモサド長官などで、仲介国経由の間接交渉を行っている。ハマスは捕虜交換の第一段階としてイスラエルが提示しているリストのうち34人を解放するとメディアに話したと伝えられるが、ネタニヤフ首相府はハマスがそのリストを提示していないと言ってハマス提案を拒否。停戦に関しては、ハマスは恒久的停戦とイスラエル軍のガザ

*アル・クッズ旅団：イスラム聖戦運動の軍事部門のアル・クッズ旅団は、アル・カッサム旅団といっしょに、ガザ市南部のネツァリム回廊でイスラエル占領軍の工兵部隊の指導部を107mmロケット弾で攻撃したと発表した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍の艦隊がガザ回廊中部のヌセイラト地区沿岸部を砲撃した。これはイスラエル軍のガザ沿岸部への連続している軍事行動の一部である。

*アクシオス：トランプ次期大統領の特命使節がイスラエルで政府と話し合った後、交渉地カタールへ戻った。使節はイスラエルとハマスの双方にとって重大問題である人質解放に関する交渉に関与するものと思われる。

*パレスチナ・メディア：ジャバリア難民キャンプの救急医療隊員のハッサン・アル・カハルートのガザ回廊北部でイスラエルの空爆で負った傷の悪化により死亡した。

*パレスチナ・メディア：PA保安隊が西岸地区北部のトゥーバ市のアル・デイル地区で仕掛けてあったいくつかの爆弾を処理した。これはイスラエル占領軍に対して罠としてレジスタンスが仕掛けた爆弾であったといわれる。

1月11日 10:19 pm

*カン：ハマスの捕虜交換交渉でかなりの進展があったとイスラエル放送局が伝えた。それによると、イスラエル側が第一段階で停戦を含む第二段階を交渉してもよいという柔軟姿勢を示したので進展の可能性が出た。米国のウェブニュース・サイトのアクシオスも、捕虜交換交渉で全般的な進展があったというイスラエル高官の発言を伝えた。この高官は、明日のドーハ会談でハマスが同意するかどうかが決まる重要な局面となると言った。

*チャンネル12：ベイト・ハヌーンではイスラエル軍に対する二重の待ち伏せ攻撃があった。地雷と待ち伏せ射撃である。攻撃による死者と怪我人のベイト・ハヌーンからの移動もレジスタンスの集中的発砲で非常に困難であった。

*イスラエル・メディア：イスラエル大統領のイツハク・ヘルツォグは、今日ガザの戦闘で戦死した4人の兵士に悲しみを表明して、「今日の戦闘で兵士4人を失ったことに心が痛む」と述べた。さらに彼は戦争が「非常に高くてつらい代償」を課すと述べ、先週だけで10人の兵士の命を失ったと言った。

*WALLA：イスラエルの報道機関 WALLA はベイト・ハヌーンで待ち伏せ攻撃に遭ってナハル旅団の副司令官が負傷したことを報道した。この待ち伏せ攻撃でイスラエル兵4人が死亡した。

イスラエル軍は、今日、ガザ回廊北部の衝突でナハル旅団の兵士4人が死亡し、士官を含む2人が負傷したことを認めた。

イエディオト・アハロトによれば、副司令官の巡視を狙ったベイト・ハヌーンの待ち伏せの罠で爆発物が破裂し、兵士たちが死亡した。

*フーシ派の声明：フーシ派の軍事報道官はフーシ派が紅海で米の空母トルーマン号を数発のミサイルで攻撃したことを発表した。

1月11日 7:56 pm

*イスラエル首相府：ネタニヤフ首相は国防相と安全保障国防関係の高官たちと人質に関して協議会を開いた。

*人質の家族：私たちは今晚人質全員の解放を求めるデモをイスラエル各地で行うことを呼びかけている。ネタニヤフは人質解放とガザ停戦をもたらすための適切な措置を拒否している。

*イスラエル消息筋（アル・ジャジーラの報道）：今日のガザ回廊での戦争でイスラエル兵7人が戦死し、30人が負傷した。負傷者のうち11人は重傷である。

1月11日 6:26 pm

*カン：交渉では、イスラエルは攻撃をしないと誓い、ハマスは第二段階で残る人質全部を釈放すると誓わなければならない。

*イスラエル・ハヨム：モサドの長官は交渉の進展を話し合うために今晚カタールへ向かうと思われる。

*アル・カッサム旅団：アル・カッサム旅団は人質の妻が発表したビデオ・メッセージに対応した。

人質の妻は自分の夫がどんな状態なのかを見せる映像を発表してくれとアラビア語のメッセージをパレスチナ人グループに送った。「私の名はシャロン・クネオです。私の夫ダヴィド・クネオはガザで捕らえられています。イ

からの完全撤収を要求、イスラエル政府はそれを拒否している。ネタニヤフ政府が何やかやと口実をつけて交渉の進展を妨害しているという印象で、人質家族や従軍兵士の家族がネタニヤフに抗議デモを行っている。

スラム教徒は捕らえた囚人を、イスラムが貧者や孤児を哀れみ大事にするのと同じように、哀れみ、寛大に扱い、大事に世話をしていると思います。囚人は人間らしく扱われ、保護されなければなりません。夫のダヴィドがそのように扱われているのを見たいので、どうか映像を流してください。おねがいします。」

これに対しアル・カッサム旅団は「シャロンさん。あなたのメッセージの後、シオニスト軍の攻撃が一段と激しくなったので、ダヴィドがどうなるか分かりません。イスラエル軍の攻撃で死ぬか、怪我をするか、それとも大丈夫なのか、分かりません。ネタニヤフは停戦や捕虜交換の合意をしていません」と答えた。

1月11日 5:00 pm

*イスラエル軍ラジオ放送：イスラエル空軍が南レバノンの町クーニンへの爆撃を終えたところだ。

*イエディオト・アハロト：捕虜交換に関するハマスとイスラエルの主張の違いの90%は解決した。残る問題は第一段階から第二段階への移行に関する不一致である。

*WALLA（イスラエル政府高官の発言として）：次期大統領トランプの特使スティーブ・ウィトコフは、トランプは自分が大統領に就任するまでに交渉が合意されることを望んでいると、カタールの首相兼外務大臣のシェイフ・ムハンマド・ビン・アブドルラフマン・アル・サーニに告げた。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍はガザ回廊北部のアル・アウダ病院の施設へ爆撃と銃撃を繰り返している。

1月11日 4:12 pm

*パレスチナ・メディア：PA 保安隊がジェニン難民キャンプを包囲し、食料や医薬品のキャンプへの搬入を妨害している。PA 保安隊の包囲攻撃のため、難民キャンプの大部分で水と電気の供給が遮断された。さらに保安隊は怪我をして病院へ入った難民の多くを逮捕した。PA は報道記者に取材をやめ、難民キャンプに入ることを禁じた。

1月11日 3:07 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍のガザ回廊北部のジャバリア・アル・バラドの避難民を収容しているザイナブ・アル・ワジール学校を標的にした爆撃で、8人のパレスチナ人が死亡した。

*アクシオス（イスラエル政府高官の言葉として）：トランプ次期大統領の特使のスティーブ・ウィトコフとイスラエル首相ベンヤミン・ネタニヤフの間の会談が今日行われるだろう。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊北部のジャバリア・アル・バラドで、避難民が避難場所としている学校をイスラエル軍が空爆し、4人のパレスチナ人が死亡し、何人かが負傷した。

*アクシオス（イスラエル政府高官の発言）：カタールでの捕虜交換交渉で進展があった。

*アル・ジャジーラ：ガザ市東部のシュジャイーヤ地区のアル・ベルタージ通りの民家へのイスラエル軍の空爆でパレスチナ人2人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊中部のアル・ブレイジ難民キャンプへのイスラエルのドローン攻撃で、パレスチナ人2人が負傷した。

*ガザ保健省：2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は46,537人となり、負傷者は109,571人となった。

*パレスチナ救急隊：西岸地区ナブルスの南にあるファーティマ村へのイスラエル人入植者の攻撃で、村人が一人負傷した。

1月11日 12:47 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル無人機がガザ回廊北部のジャバリアでたった一台しか残っていない市民防衛団の自動車を攻撃した。

*イスラエル民間防衛隊：イスラエル南部のスデロットとその近辺地区で警報がなった。また、ケレム・シャロームで現在警報が鳴っている。

*ガザ市民防衛団：イスラエル占領軍は住宅地全部を吹き飛ばすような大量の爆薬を使っている。動くものがあれば何でも攻撃するので、我々団員は救助活動ができない。救助用自動車も破損し、修理用部品の搬入を占領軍が許可しないので、救助や消防活動ができない。占領軍は民間人や医療従事者を出来るだけ多く殺害しようとしている。

*アル・ジャジーラ：ハーン・ユーニス東部の町フザアで、イスラエル軍の攻撃の後、遺体を瓦礫から掘り起こした。

*WHO：世界保健機関はガザ回廊のアル・アウダ病院へWHOの派遣団が入れるように、早急な対策を講じるように要請した。

*マアリブ（イスラエル政府高官の言葉として）：空軍がガザ回廊へ落とした爆弾の数発が不発であった。1トンにもなる火薬量である。ハマスをそれを再利用して、爆発物を作成している。

*ガザ市民防衛団：破損した自動車を修理する部品や道具がないので、消防や救助用自動車が使えない。

*アル・ジャジーラ：ハマ스에捕らえられている人質の妻が、自分の夫がどんな状態なのかを見せる映像を発表してくれと懇願するアラビア語のメッセージをパレスチナ人グループに送った。「私の名はシャロン・クネオです。私の夫ダヴィド・クネオはガザで捕らえられています。イスラム教徒は捕らえた囚人を、イスラムが貧者や孤児を哀れみ大事にするのと同じように、哀れみ、寛大に扱い、大事に世話をしていると思います。囚人は人間らしく扱われ、保護されなければなりません。夫のダヴィドがそのように扱われているのを見たいので、どうか映像を流してください。おねがいします。」